



平成26年度（平成26年4月から平成27年3月まで）佐渡市トキ環境整備基金へ、総額566万4879円のご寄付をいただきました。

寄付者	ご住所
株式会社セーブオン 様	群馬県前橋市
新潟市立月潟小学校 6年1組一同 様	新潟市
原沢 みなこ 様	新潟市
佐渡興産有限会社 様	佐渡市
鐘江 くに江 様	埼玉県狭山市
カンゾウの会 様	新潟市
本間 朱鷺太郎 様	東京都小金井市
株式会社メニコン 様	愛知県名古屋
梅村 静代 様	愛知県名古屋
綱島 美枝子 様	東京都大田区
佐渡汽船運輸株式会社 様	佐渡市
田中 健一 様	佐渡市
新潟県生涯学習協会 佐渡支部 様	佐渡市
眞田 眞悟 様	大阪府大阪市
松井 三生 様	佐渡市
佐渡市立沢根小学校 5年生一同 様	佐渡市
佐渡生きもの語り研究所 様	佐渡市

※承諾をいただいた方のみ記載しています。

このほか、トキ保護募金箱への募金、6個人・18団体の方からもご寄付をいただきました。
ご芳志は、トキ野生復帰事業のために活用させていただきます。ありがとうございます。

繁殖期は、トキが最も敏感になる季節です。人が巣に近づくとトキが危険を感じて巣を放棄してしまうこともあります。ひなが誕生し、巣立ちする6月ごろまで、営巣地への接近などは控えてくださいますようご協力をお願いします。

■野生下のトキの営巣状況

4月17日の環境省発表によると、野生下で営巣が確認されているペアは20組となり、そのうち抱卵が確認されているペアは18組となりました。

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係（トキ交流会館内）
☎24—6040



ジオパーク、推進日記

加茂湖の誕生

新潟県内で最も大きい湖である加茂湖は、総面積が4・8平方キロメートル、周囲が約17キロメートルの自然湖沼です。
日本にある湖のでき方は、大きく3つに分けることができます。1つは琵琶湖（滋賀県）や猪苗代湖（福島県）など火山活動や地殻構造運動によって形成された湖、2つ目は三日月沼（北海道）など浸食作用によって形成された湖、3つ目は小川原湖（青森県）など、砂や地滑りなどでせき止められて作られた湖で、加茂湖は、3つ目にあたります。

加茂湖が誕生したのは約5千年前で、それまでは日本海の一部でした。地殻変動によって大佐渡山脈と小佐渡山地から流れ出た土砂等が山地間の海を埋めていくにつれて国中平野の土台ができてきました。また、それに伴い今の両津湾と真野湾が作られていきます。両津湾側は、大佐渡側と小佐渡側の両方から砂州が発達し、やがて外海と隔離されて加茂湖が誕生しました。現在は、両津湾とつながっている汽水湖となっています。

このような過程を経てできた加茂

湖は、江戸時代には名勝地として、近年ではカキの養殖いかだが浮かぶ風光明媚な湖として、四季折々の表情を見せてくれます。歌人・与謝野晶子も、「加茂の湖 金北おろし渡るなり 船江の浜にしら波寄らんと詠んでいます。

のどかな湖面の下には、過去に起こった地震による津波堆積物やガラス質の殻を持つ藻の化石など、昔の環境や今後の研究に活用できる貴重な調査対象がまだまだ残っているのです。

◆教育委員会社会教育課
ジオパーク推進室（両津支所内）
☎27—4185

